Microsoft Teams向けWebexビデオ統合の解決 PowerShellグローバル化後のステータスの不一致

内容

問題

Microsoft Teamsテナント内のすべてのユーザーに対してWebEx Video Integration for Microsoft Teams(VIMT)をグローバルに有効にすると、PowerShellクエリでは、6日以上経過しても個々のユーザーが「有効になっていません」と表示されます。VIMTがユーザー単位で有効にされると、PowerShellクエリでは直ちに有効と表示されます。問題は、グローバルVIMTの有効化が正常に機能し、Microsoft Teams環境のユーザに適切に反映されているかどうかでした。

環境

- テクノロジー：クラウドおよびハイブリッド製品
- サブテクノロジー：Webex Video Integration for Microsoft Teams(CVI)
- VIMTがグローバルに構成されたMicrosoft Teamsテナント
- Microsoft Teams用PowerShell環境の管理

解決方法

この問題は、検証テストを通じて解決され、PowerShellのステータス表示が異なるにもかかわらず、VIMT機能が正しく動作していることが確認されました。

実行される検証手順

ステップ1：ラボ環境の検証

ケースの所有者は、管理されたラボテナントで動作を再現し、VIMTがグローバルに有効になっている場合、PowerShellを介して照会されたときに個々のユーザが有効として表示できないことを確認しました。ただし、Webex CVI/VIMT参加の詳細を含むTeams会議は正常にスケジュールできます。

ステップ2：お客様の機能テスト

PowerShellで「無効」と表示された該当ユーザは、テスト用のMicrosoft Teams会議を作成して、Webex CVI/VIMTの参加情報が会議の招待状に表示されるかどうかを確認するように依頼されました。

ステップ3：動作機能の確認

お客様は、テストミーティングでWebex CVI/VIMTの参加情報がミーティングの招待状に正しく含まれていることを確認し、PowerShellの表示の問題にもかかわらず、グローバルイネーブルメントが正しく機能していることを示しました。

主な調査結果

VIMTがテナントレベルでグローバルに構成されている場合、PowerShellクエリで個々のユーザーを有効な状態で表示することはできませんが、機能はすべてのユーザーに対してアクティブで操作可能なままです。グローバルポリシーが適用されている場合、PowerShellステータスクエリは、実際の機能状態を正確に反映しません。

原因

これは、Microsoft TeamsでVIMTをグローバルに有効にした場合の正常な動作です。グローバルテナント全体のポリシーが適用される際、すべてのユーザーに対して機能がアクティブで正常に動作しているにもかかわらず、PowerShellクエリコマンドが個々のユーザーの有効化ステータスを正確に反映することはできません。これは、PowerShell管理インターフェイスとサービスの実際の機能状態との間の表示の不整合を表します。

関連コンテンツ

- Control Hubからのビデオ統合の作成
- Get-CsTeamsビデオ相互運用サービスポリシー
- シスコのテクニカルサポートとダウンロード

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。